

2022年度(2023年3月期) 第3四半期決算説明資料(IFRS)

IHI

2023年2月7日

株式会社 IHI



目次

1. 2022年度第3四半期 連結決算	
連結決算総括.....	4
連結決算の概要(受注高, 連結損益計算書).....	5
報告セグメント別内訳.....	6
金融損益等.....	11
連結財政状態計算書.....	12
連結キャッシュ・フロー計算書.....	13
補足資料.....	14
2. 2022年度 連結業績見通し	
通期業績見通し.....	17
報告セグメント別内訳.....	18
連結キャッシュ・フロー 通期見通し.....	21
3. 報告セグメント別の概況	
資源・エネルギー・環境.....	23
社会基盤・海洋.....	25
産業システム・汎用機械.....	27
航空・宇宙・防衛.....	29
<参考資料>.....	31

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示している。

IHI

1. 2022年度第3四半期 連結決算

- 全セグメントにおいて営業利益を確保。
- 民間向け航空エンジンでは、スペアパーツ販売が順調に推移し、回復基調を継続。加えて採算改善と為替円安が利益を押し上げ。
- 車両過給機では、自動車会社の生産調整からの回復が継続するものの、中国での新型コロナウイルス感染拡大による販売減や原材料価格高騰により利益の伸びは鈍化。
- そのほかの事業は、全体として堅調に推移。

1. 2022年度第3四半期 連結決算 連結決算の概要(受注高, 連結損益計算書)

(億円)

	'21年度3Q	'22年度3Q	増 減
受 注 高	8,438	9,484	1,046
売 上 収 益	8,161	9,463	1,301
営 業 利 益	455	649	194
税引前四半期利益	477	523	45
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	276	270	▲ 5

売上平均レート(米ドル) '21年度3Q 111.62円
'22年度3Q 134.73円

1. 2022年度第3四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(受注高・受注残高)

(億円)

	受注高			受注残高		
	'21年度3Q	'22年度3Q	増減	'21年度末	'22年度3Q末	増減
資源・エネルギー・環境	2,707	2,733	25	5,275	5,574	299
社会基盤・海洋	1,196	846	▲350	2,500	2,205	▲295
産業システム・汎用機械	2,727	3,308	580	1,807	2,015	207
航空・宇宙・防衛	1,703	2,562	859	2,838	2,859	21
報告セグメント計	8,334	9,450	1,115	12,421	12,654	232
その他	390	377	▲12	228	227	▲1
調整額	▲286	▲343	▲56	-	-	-
合計	8,438	9,484	1,046	12,650	12,881	230

海外受注高・受注残高	3,840	4,993	1,153	3,423	3,689	265
海外受注高・受注残高比率	46%	53%	7%	27%	29%	2%

受注残高の変動には、為替レート変更の影響も含まれている。

1. 2022年度第3四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益)

(億円)

	売上収益			営業利益		
	'21年度3Q	'22年度3Q	増減	'21年度3Q	'22年度3Q	増減
資源・エネルギー・環境	2,427	2,587	159	122	196	73
社会基盤・海洋	1,117	1,201	83	52	56	4
産業システム・汎用機械	2,719	3,087	367	95	83	▲11
航空・宇宙・防衛	1,780	2,552	772	▲55	380	436
報告セグメント計	8,045	9,428	1,382	214	716	502
その他	424	336	▲88	38	7	▲31
調整額	▲308	▲301	7	202	▲74	▲277
合計	8,161	9,463	1,301	455	649	194

海外売上収益	3,594	4,965	1,371
海外売上収益比率	44%	52%	8%

1. 2022年度第3四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(営業利益の前年同期比増減要因)

(億円)

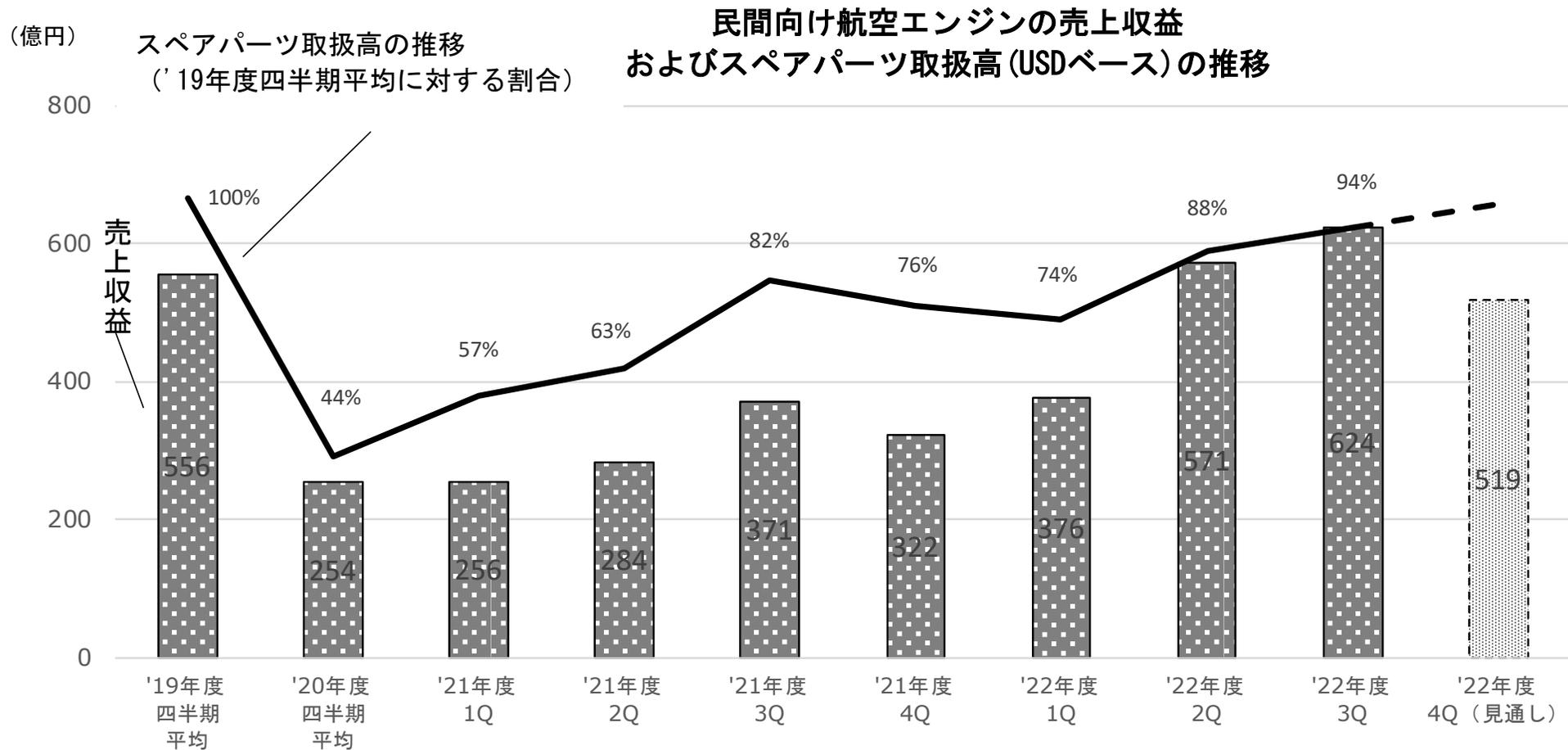
	売上収益の増減	工事採算の変動	為替の変動	販管費の変動	その他損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境	54	28	21	▲16	▲14	73
社会基盤・海洋	▲11	2	3	▲6	17	4
産業システム・汎用機械	13	▲47	13	▲8	17	▲11
航空・宇宙・防衛	178	131	201	▲11	▲63	436
報告セグメント計	234	114	238	▲41	▲43	502
その他	▲22	3	▲3	▲6	▲3	▲31
調整額	▲1			▲26	(※1)▲250	▲277
合計	211	117	235	▲73	▲296	194

報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

販管費の変動とその他損益の増減では為替の変動などを除いている。

(※1)前年同期に計上した資産売却の影響▲250億円を含む。

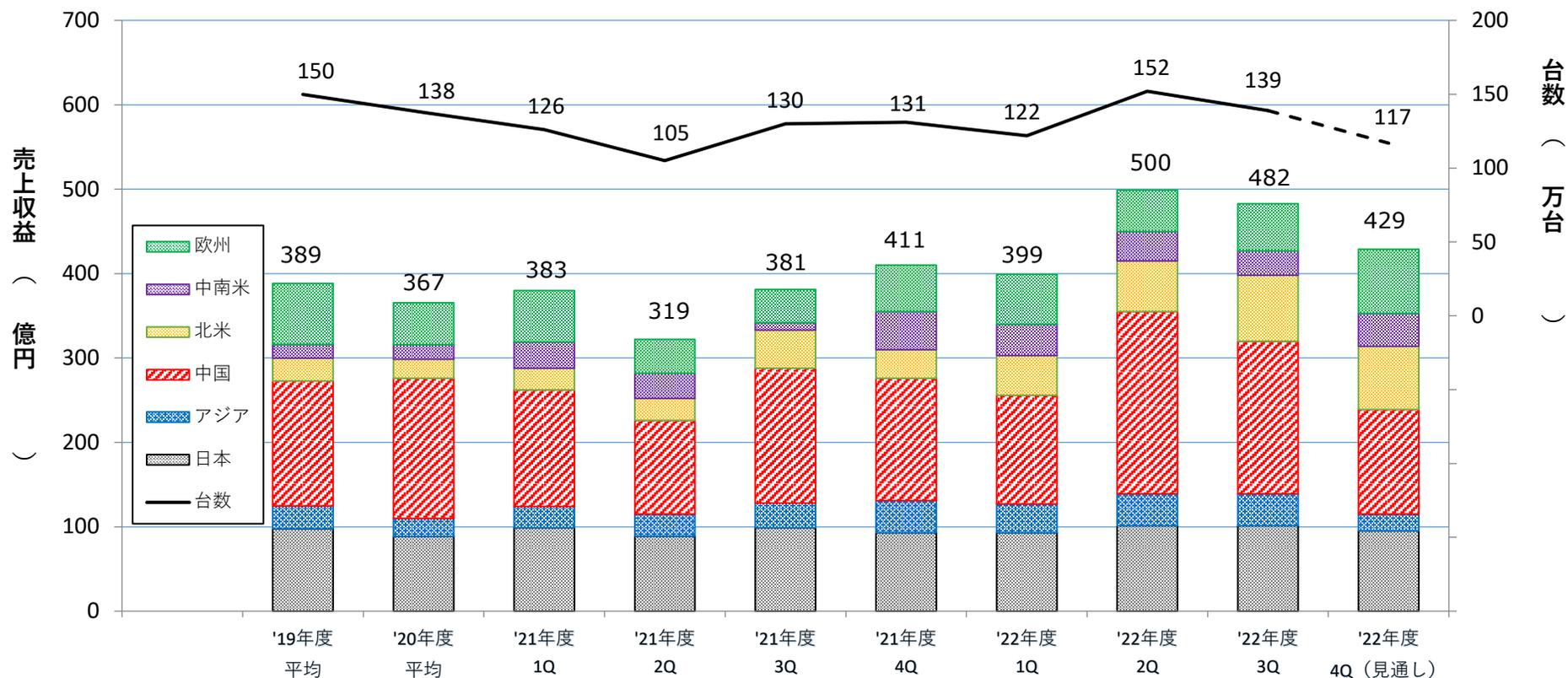
1. 2022年度第3四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(民間向け航空エンジンの状況)



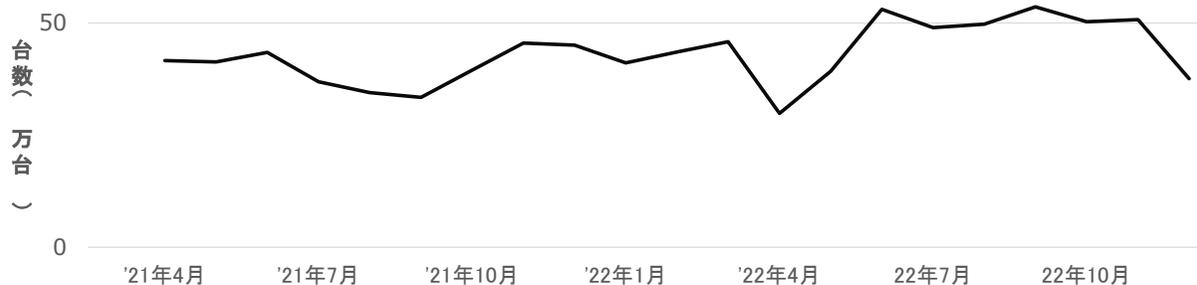
スペアパーツの取扱高は、順調に回復。

1. 2022年度第3四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(車両過給機の状況)

車両過給機 販売台数・地域別売上収益推移



車両過給機 販売台数月別推移



中国での新型コロナウイルス感染拡大により足許は販売減。

1. 2022年度第3四半期 連結決算 金融損益等

(億円)

	'21年度3Q	'22年度3Q	増 減
為替差損益	32	▲63	▲95
持分法による投資損益	9	▲51	▲60
その他の金融損益	▲19	▲11	7
金融損益等	22	▲125	▲148

期末日レートの変動(米ドル) '21年度3Q +4.35円(期首110.65円→期末115.00円)
'22年度3Q +10.18円(期首122.39円→期末132.57円)

1. 2022年度第3四半期 連結決算 連結財政状態計算書

(億円)

	'21年度末	'22年度3Q末	増減
資産合計	18,796	19,497	700
(うち 現金及び現金同等物)	(1,454)	(1,015)	(▲ 439)
(うち 営業債権, 契約資産)	(4,745)	(5,144)	(399)
(うち 棚卸資産)	(3,401)	(4,061)	(660)
負債合計	14,726	15,194	468
(うち 営業債務等)	(2,354)	(2,269)	(▲ 84)
(うち 契約負債)	(2,147)	(1,971)	(▲ 175)
(うち 有利子負債残高)	(5,055)	(5,819)	(763)
社債及び借入金	(3,722)	(4,568)	(846)
リース負債	(1,333)	(1,251)	(▲ 82)
資本合計	4,070	4,302	232
親会社の所有者に帰属する持分	3,821	4,060	239
非支配持分	249	242	▲ 6
負債・資本合計	18,796	19,497	700
D/Eレシオ (※1)	1.24倍	1.35倍	0.11倍
親会社所有者帰属持分比率(※2)	20.3%	20.8%	0.5%

(※1) D/Eレシオ=有利子負債／資本合計

(※2) 親会社所有者帰属持分比率=親会社の所有者に帰属する持分／負債・資本合計

1. 2022年度第3四半期 連結決算 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

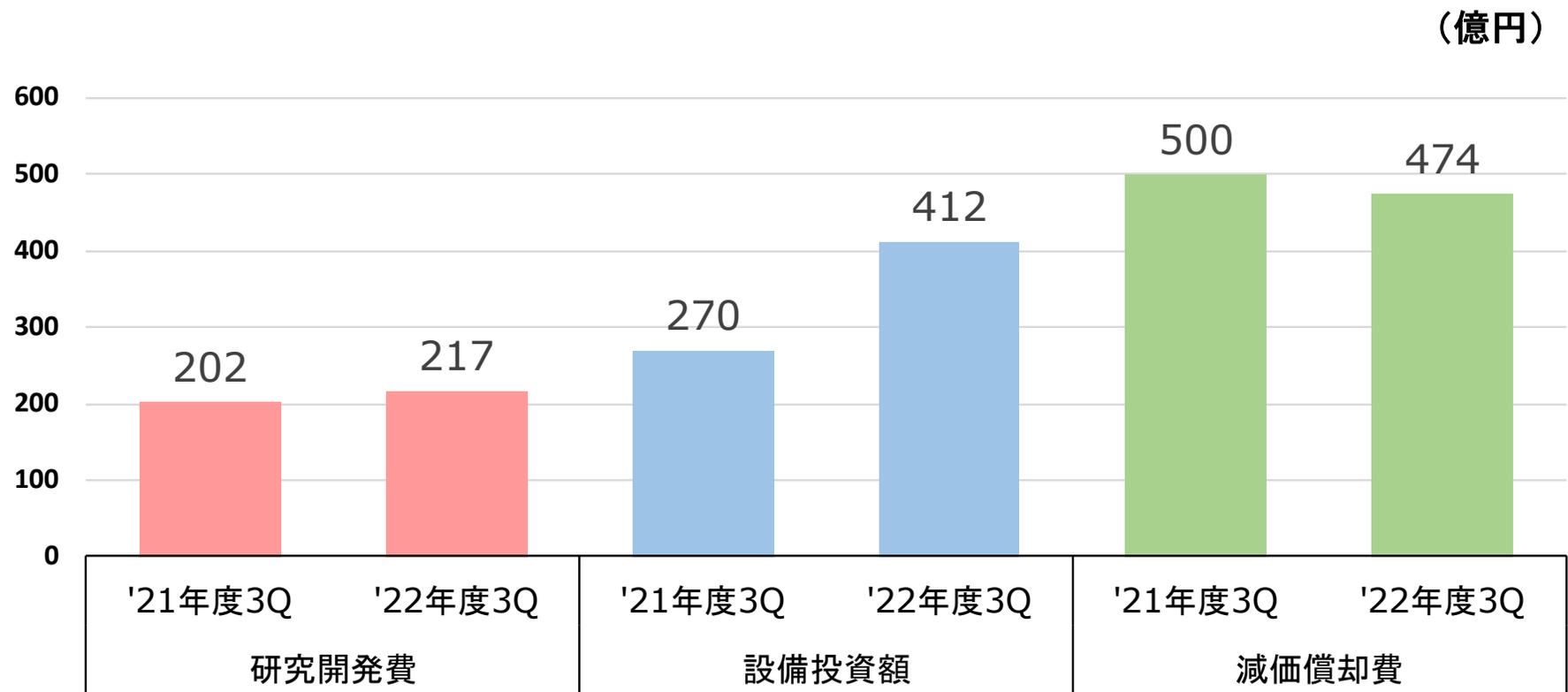
	'21年度3Q	'22年度3Q	増 減
税引前四半期利益	477	523	45
減価償却費(※1)	500	474	▲26
運転資本増減(※2)	▲325	▲1,241	▲916
その他	(※3) ▲549	0	549
小計	103	▲243	▲347
法人所得税等	▲61	▲288	▲226
営業キャッシュ・フロー	42	▲531	▲574
投資キャッシュ・フロー	15	▲386	▲402
フリー・キャッシュ・フロー	57	▲918	▲976
財務キャッシュ・フロー	▲454	478	933

(※1)減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

(※2)運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。
 運転資本＝営業債権＋契約資産＋棚卸資産＋前払金－契約負債－営業債務－返金負債

(※3)保有資産売却益の投資キャッシュ・フローへの振替額▲312億円を含む。

(1) 研究開発費・設備投資額・減価償却費



設備投資額，減価償却費は，有形固定資産，投資不動産，使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示している。

(2) 地域別売上収益

(億円)

	'21年度3Q	'22年度3Q
日本	4,567	4,498
アジア	1,144	1,531
中国	665	836
北米	1,146	1,858
中南米	80	123
欧州	492	543
その他	65	71
合計	8,161	9,463

2. 2022年度 連結業績見通し

2. 2022年度 連結業績見通し 通期業績見通し

前提為替レート 米ドル 130円
(第4四半期)

(億円)

	'21年度実績	'22年度 前回見通しA (※1)	'22年度 今回見通しB	増減 B-A
受注高	12,612	13,300	13,600	300
売上収益	11,729	13,500	13,500	0
営業利益	814	850	850	0
税引前当期利益	876	800	800	0
親会社の所有者に 帰属する当期利益	660	500	500	0

(参考) 為替感応度(為替相場の1円変動による、営業利益への影響額): 米ドル 3億円

(※1) 前回見通しは、2022年11月8日公表の業績予想数値。以下のスライドも同じ。

配当見通し(変更あり) 1株あたり 90円(中間 40円, 期末 50円(10円増配))

2. 2022年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(受注高 通期見通し)

(億円)

	'21年度実績	'22年度 前回見通しA	'22年度 今回見通しB	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	3,738	3,600	4,200	600
社会基盤・海洋	1,810	1,700	1,400	▲300
産業システム・汎用機械	3,845	4,500	4,400	▲100
航空・宇宙・防衛	3,047	3,500	3,600	100
報告セグメント計	12,441	13,300	13,600	300
その他	547	500	500	0
調整額	▲376	▲500	▲500	0
合計	12,612	13,300	13,600	300

2. 2022年度 連結業績見通し

報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益 通期見通し)



(億円)

	売上収益				営業利益			
	'21年度実績	'22年度 前回見通しA	'22年度 今回見通しB	増減 B-A	'21年度実績	'22年度 前回見通しA	'22年度 今回見通しB	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	3,444	3,800	3,800	0	229	260	260	0
社会基盤・海洋	1,673	1,700	1,700	0	153	170	160	▲10
産業システム・汎用機械	3,769	4,400	4,300	▲100	128	270	180	▲90
航空・宇宙・防衛	2,652	3,600	3,700	100	▲93	400	430	30
報告セグメント計	11,540	13,500	13,500	0	418	1,100	1,030	▲70
その他	627	500	500	0	▲10	20	0	▲20
調整額	▲439	▲500	▲500	0	406	▲270	▲180	90
合計	11,729	13,500	13,500	0	814	850	850	0

2. 2022年度 連結業績見通し

報告セグメント別内訳(前回見通しからの営業利益の増減要因)

- 産業システム・汎用機械は、車両過給機などでの調達費の上昇、中国での新型コロナウイルスの感染拡大や、そのほかの一部の事業での受注・販売の遅れにより減益。

(億円)

	売上収益の増減	工事採算の変動	為替の変動	販管費の変動	その他損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境	▲ 20	10	20	▲ 10		0
社会基盤・海洋	▲ 10					▲ 10
産業システム・汎用機械	▲ 50	▲ 50	10	10	▲ 10	▲ 90
航空・宇宙・防衛		10	20			30
報告セグメント計	▲ 80	▲ 30	50	0	▲ 10	▲ 70
その他	▲ 10				▲ 10	▲ 20
調整額				▲ 10	100	90
合計	▲ 90	▲ 30	50	▲ 10	80	0

2. 2022年度 連結業績見通し 連結キャッシュ・フロー 通期見通し

- 第3四半期までの実績を織り込み、見通しを変更。

(億円)

	'21年度実績	'22年度 前回見通しA	'22年度 今回見通しB	増減 B-A
税引前当期利益	876	800	800	0
減価償却費(※1)	675	610	610	0
運転資本増減(※2)	230	0	▲500	▲500
その他	▲640	▲110	▲110	0
営業キャッシュ・フロー	1,141	1,300	800	▲500
投資キャッシュ・フロー	279	▲900	▲800	100
フリー・キャッシュ・フロー	1,420	400	0	▲400

(※1)減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

(※2)運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。
 運転資本＝営業債権＋契約資産＋棚卸資産＋前払金－契約負債－営業債務－返金負債

3. 報告セグメント別の概況

3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円)

	受注高								売上収益							
	'21年度				'22年度				'21年度				'22年度			
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
原 動 機	255	414	604	846	222	491	759	900	186	384	610	889	157	326	532	820
カ ー ボ ン ソ リ ュ ー シ ョ ン	154	622	1,156	1,591	33	239	396	1,780	352	764	1,129	1,558	323	737	1,111	1,610
原 子 力	104	269	584	707	113	255	333	460	60	163	280	453	159	287	453	710

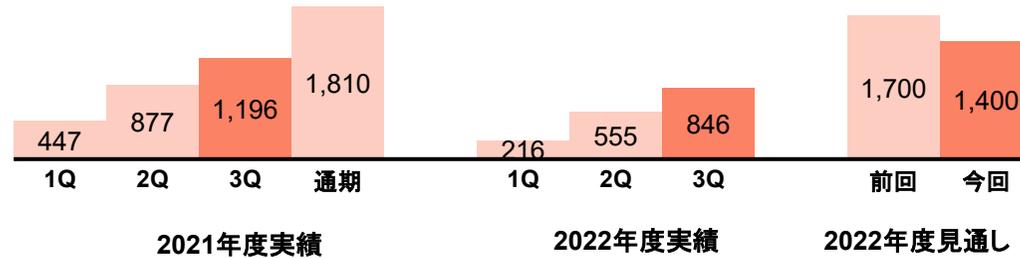
3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円/各期の金額は累計)

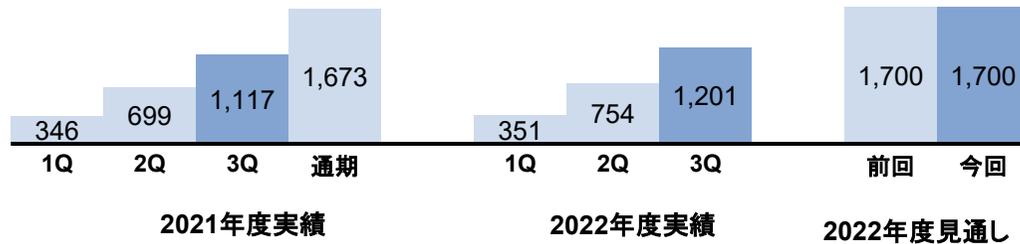
前回: 2022年11月8日公表の業績予想数値

主要事業: 橋梁・水門, シールドシステム, 都市開発,
交通システム, コンクリート建材

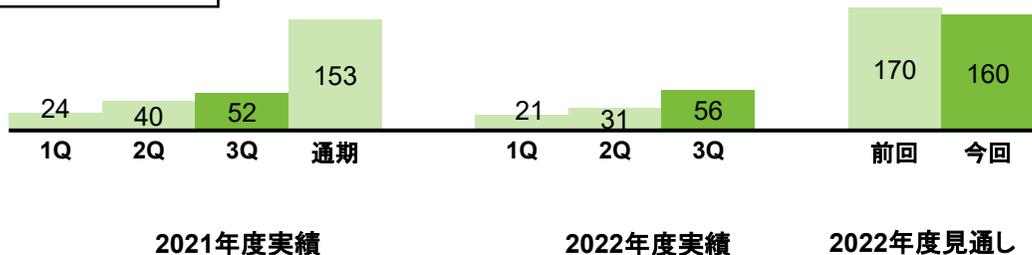
受注高



売上収益



営業利益



実績(対前年同期)

【受注高】

橋梁・水門で減少。

【売上収益】

シールドシステムで減収となったものの、橋梁・水門で増収。

【営業利益】

シールドシステムなどで減益となったものの、橋梁・水門での増収に伴い増益。

通期見通し(対前回見通し)

- 受注高は、橋梁・水門やシールドシステムでの受注遅れにより減少。
- 営業利益は、シールドシステムなどでの進捗遅れにより減益。

3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円)

	受注高								売上収益							
	'21年度				'22年度				'21年度				'22年度			
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
橋梁・水門	312	614	806	1,109	93	274	401	730	178	336	555	896	202	438	701	1,080
シールドシステム	12	44	86	146	14	43	98	180	58	120	175	227	51	93	144	170
都市開発	46	94	141	184	43	85	132	170	46	96	140	186	41	85	131	170

「都市開発」の豊洲地区関連情報は、＜参考資料＞都市開発を参照。

3. 報告セグメント別の概況

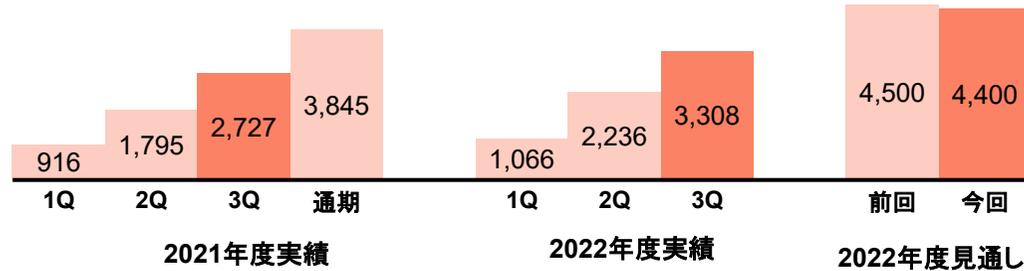
産業システム・汎用機械

(億円/各期の金額は累計)

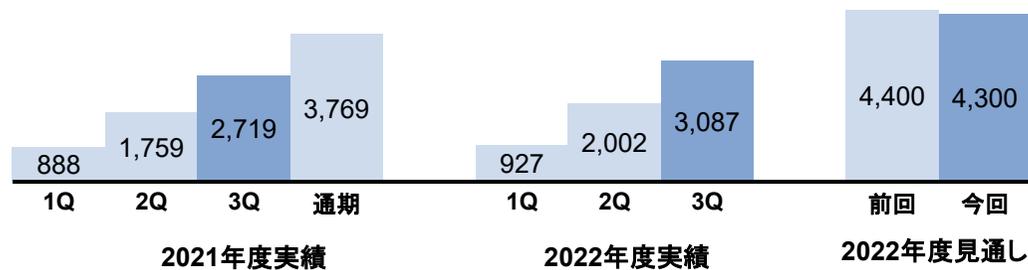
前回: 2022年11月8日公表の業績予想数値

主要事業: 車両過給機, パーキング, 回転機械,
熱・表面処理, 運搬機械, 物流・産業システム

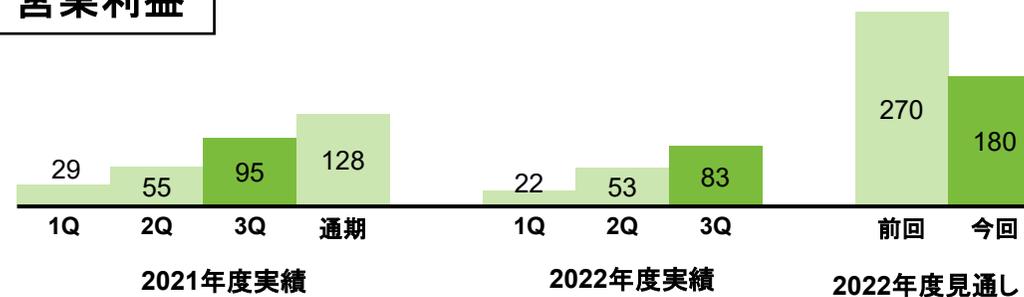
受注高



売上収益



営業利益



実績(対前年同期)

【受注高】

車両過給機や運搬機械で増加。

【売上収益】

車両過給機や熱・表面処理で増収。

【営業利益】

回転機械や熱・表面処理で増益となったものの、物流・産業システムやパーキングでの受注・販売の遅れにより減益。

通期見通し(対前回見通し)

- 受注高は、車両過給機、パーキング、物流・産業システムで減少。
- 売上収益・営業利益は、車両過給機などでの調達費の上昇、中国での新型コロナウイルスの感染拡大、物流・産業システムやパーキングでの受注・販売の遅れにより減収減益。

(億円)

	受注高								売上収益							
	'21年度				'22年度				'21年度				'22年度			
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期												
車両過給機	386	714	1,100	1,518	397	897	1,381	1,810	383	702	1,083	1,494	399	899	1,381	1,810
パーキング	106	229	333	524	116	277	402	590	91	196	319	472	94	200	323	470
回転機械	136	267	391	559	184	345	465	620	119	237	376	527	117	263	406	590
熱・表面処理	107	209	326	435	135	253	383	520	87	186	285	396	101	216	341	480
運搬機械	41	97	135	230	85	169	219	280	73	164	242	310	89	159	242	330
物流・産業システム	49	131	234	319	77	159	264	460	67	149	235	323	66	141	213	340

「車両過給機」の詳細は、＜参考資料＞車両過給機を参照。

＜車両過給機の販売台数＞

(万台)

販売年度	3Q累計	通期
2021年度	361	492
2022年度	413	530

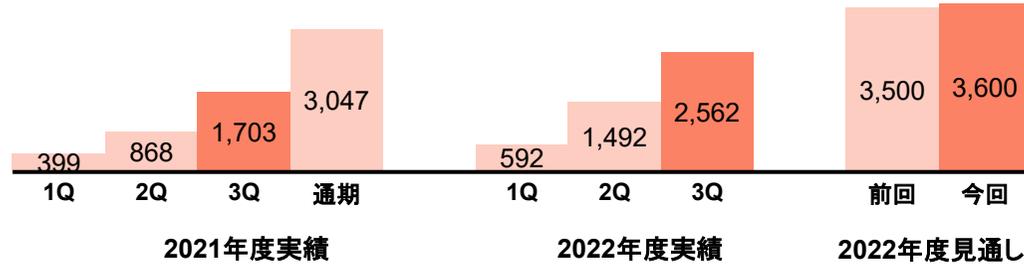
3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円/各期の金額は累計)

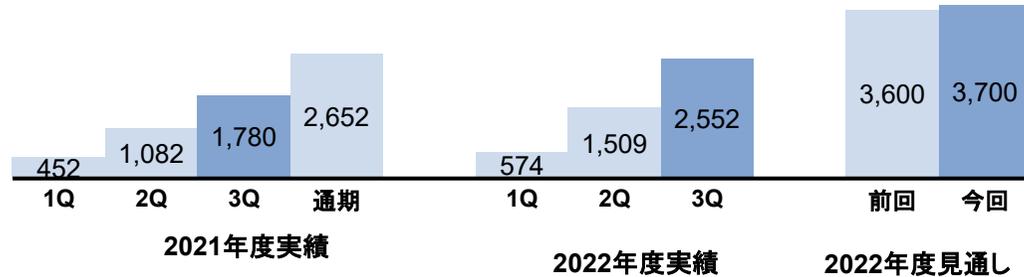
前回: 2022年11月8日公表の業績予想数値

主要事業: 航空エンジン, ロケットシステム・宇宙利用
防衛機器システム

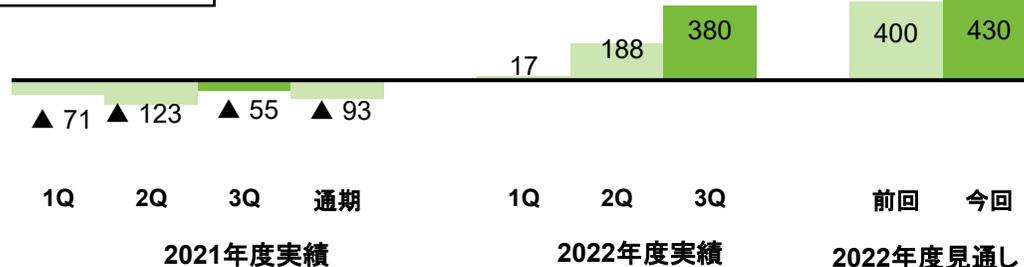
受注高



売上収益



営業利益



実績(対前年同期)

【受注高】

民間向け航空エンジンなどで増加。

【売上収益】

民間向け航空エンジンでの、エンジン本体・スペアパーツの販売増加に加え、為替が円安に推移したことにより増収。

【営業利益】

民間向け航空エンジンでの、スペアパーツの販売増加、新製エンジンの原価低減や性能改善に伴うプログラム関連の負担減少に加え、為替が円安に推移したことにより増益。

通期見通し(対前回見通し)

- 受注高・売上収益は、為替が円安に推移したことにより増加・増収。
- 営業利益は、増収に加え採算改善により増益。

3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円)

	受注高								売上収益							
	'21年度				'22年度				'21年度				'22年度			
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
民間向け航空エンジン	257	535	899	1,219	371	949	1,576	2,100	256	540	911	1,233	376	947	1,571	2,090

「民間向け航空エンジン」の詳細は、＜参考資料＞航空エンジンを参照

＜民間向け航空エンジンの販売台数＞

(台)

販売年度	3Q累計	通期
2021年度	648	789
2022年度	721	1,077

< 参考資料 >

- ・当第3四半期のトピックス
- ・主要な経営指標の推移
- ・航空エンジン
- ・車両過給機
- ・都市開発

IHIとGE アンモニア専焼大型ガスタービン開発に関する覚書を締結



IHIは、米国のGE Gas Power社(以下「GE社」と)、発電分野における温室効果ガス排出ゼロの達成による低炭素社会の実現に向けて、大型重構造型ガスタービンへ適用するアンモニア燃焼技術を共同開発するための覚書を締結しました。

この覚書にもとづき、両社で大型アンモニアガスタービンの技術開発ロードマップ策定を進め、安全性・競争力・環境性に優れたアンモニア100%燃焼(専焼)技術をGE製F型ガスタービン向けに2030年までに開発し、既設のGE製大型ガスタービン発電設備へのアンモニア燃料転換改造および新設大型ガスタービンの国内外での需要に応えていくことを目指します。

<経済産業省を訪問して共同開発を報告した様子>

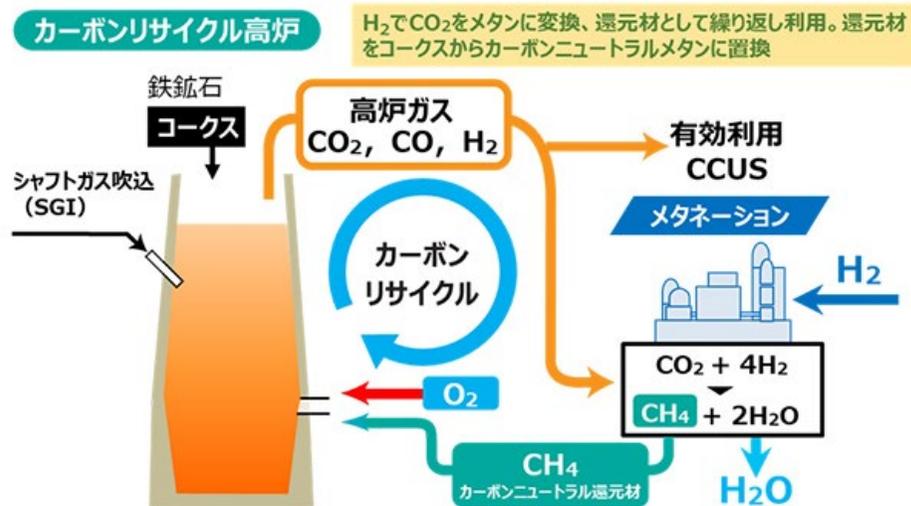
(左から:ターリー米国大使館商務公使, ストレイジック米GE Vernova CEO, 保坂伸 資源エネルギー庁長官, 井手 IHI社長)

世界最大級の製造能力を持つメタネーション装置を受注 ～JFEスチールの試験高炉向けに、排出ガス中のCO₂を有効活用～

IHIとグループ会社のIHIプラントはこのたび、JFEスチール株式会社より、試験高炉の排出ガスから1日あたり24トンのCO₂を再利用し、1時間に500Nm³のメタンを製造するメタネーション装置を受注しました。メタネーション装置としては現時点で世界最大級の製造能力を持っております。

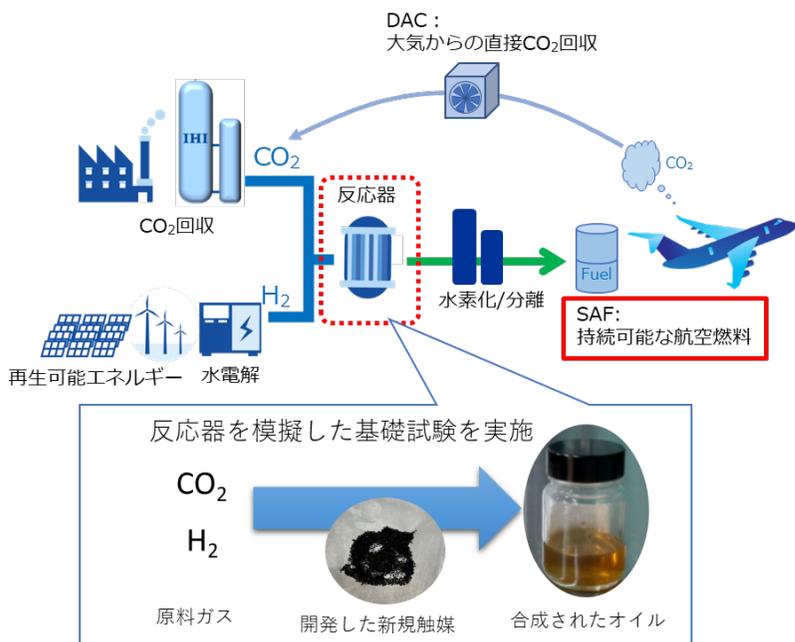
IHIは、触媒の高度化、反応器の大型化、反応熱の有効利用プロセス改善などを中心にさらなる開発を推進し、2024年度予定の本メタネーション装置の納入につなげてまいります。

また将来に向けたさらなる大型化に取り組み、数千～数万Nm³/hの合成能力を持つメタネーション装置を、2030年までに国内外にて商用化する予定です。



<カーボンリサイクル高炉>

持続可能な航空燃料SAF合成技術開発においてCO₂からの炭化水素生成で世界トップレベル収率を確認



IHIはシンガポール科学技術研究庁傘下の研究機関であるISCE²(*1)と共同で、CO₂を原料とした持続可能な航空燃料Sustainable Aviation Fuel (SAF)を合成するための新触媒を開発し、H₂とCO₂を直接反応させるSAF合成触媒において世界トップレベルである26%の液体炭化水素収率(*2)を確認しました。

IHIはSAFの合成技術開発に関して、ISCE²との共同研究を今年度より進めており、その中で、AIの一種である機械学習等を活用しながら触媒組成・反応条件などの試験条件を効率的に探索・調整することで、SAF合成において高い性能を持つ触媒を開発しました。

(*1)Institute of Sustainability for Chemicals, Energy and Environment

(*2)反応器に投入したCO₂に含まれる炭素のうち、目的の炭化水素(本開発では前述のように炭素数5以上の液体炭化水素)に変換された炭素の割合。触媒の性能を記述する指標となる。

<IHIが提案するSAFの構想(左図)>

次期戦闘機の国際共同開発へ参画

IHIは、2020年に防衛省が着手しました次期戦闘機開発事業にエンジン担当企業として参画していますが、このたび、日本政府が本事業をイギリスおよびイタリアとの共同開発とする旨を決定しました。政府および関連企業とより緊密に連携し日英伊共同開発に取り組んでまいります。

本事業への参画にあたり、これまでの経験や技術開発事業の成果に基づき、政府および関連企業とより緊密に連携しながら、航空機産業先進国たるイギリスおよびイタリアとの協業の中で主導的な役割を果たしていきます。



出典：防衛省ホームページ

<次期戦闘機 イメージ画像>

※画像はあくまでイメージであり、最終的に決定されたものではありません

主要な経営指標の推移

	日本基準			IFRS					IFRS
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 3Q	2022年度 (見通し)	2022年度 (前回見通し)
受注高	13,898億円	15,050億円	13,992億円	12,800億円	10,970億円	12,612億円	9,484億円	13,600億円	13,300億円
売上収益	14,683億円	15,903億円	14,834億円	12,631億円	11,129億円	11,729億円	9,463億円	13,500億円	13,500億円
営業利益	473億円	722億円	824億円	478億円	279億円	814億円	649億円	850億円	850億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	52億円	82億円	398億円	82億円	130億円	660億円	270億円	500億円	500億円
営業CF	653億円	990億円	464億円	424億円	363億円	1,141億円	▲ 531億円	800億円	1,300億円
投資CF	▲ 289億円	▲ 479億円	▲ 792億円	▲ 855億円	▲ 404億円	279億円	▲ 386億円	▲ 800億円	▲ 900億円
FCF	364億円	510億円	▲ 328億円	▲ 430億円	▲ 41億円	1,420億円	▲ 918億円	0億円	400億円
配当	0円/株	中間3円/株 期末30円/株 (期末は、株 式併合後)	70円/株 (中間30円、 期末40円)	50円/株 (中間30円、 期末20円)	0円/株	70円/株 (中間30円、 期末40円)	-	90円/株 (中間40円、 期末50円)	80円/株 (中間40円、 期末40円)
ROIC	5.0%	7.7%	8.7%	4.1%	2.2%	6.4%	-	6.6%	6.8%
営業利益率	3.2%	4.5%	5.6%	3.8%	2.5%	6.9%	6.9%	6.3%	6.3%
CCC	87日	83日	97日	92日	124日	112日	-	110日	96日
D/ELシオ	1.10倍	0.92倍	0.93倍	2.00倍	1.85倍	1.24倍	1.35倍	1.17倍	1.05倍
ROE	1.6%	2.6%	11.8%	2.8%	4.5%	19.3%	-	12.6%	12.6%
親会社所有者帰属 持分比率	18.8%	19.9%	21.0%	15.0%	16.4%	20.3%	20.8%	22.3%	22.9%

ROIC: (営業利益+受取利息・配当金)税引後 / (親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

CCC: 運転資本 / 売上収益 × 365日

D/ELシオ: 有利子負債 / 資本合計

ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 親会社の所有者に帰属する持分

親会社所有者帰属持分比率: 親会社の所有者に帰属する持分 / 負債・資本合計

売上収益・機種別累計販売台数推移

	日本基準								IFRS					主要搭載機
	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22/3Q 累計	'22 見通し	
売上収益(億円)	1,436	1,698	2,260	2,670	2,991	2,915	2,810	3,185	2,224	1,017	1,233	1,571	2,090	
累計販売台数(台)														
V2500	4,980	5,468	5,969	6,469	6,896	7,236	7,508	7,688	7,735	7,740	7,756	7,772	7,773	エアバス A319/320/321
GE90	1,399	1,589	1,806	2,039	2,257	2,457	2,617	2,715	2,824	2,885	2,925	2,961	2,983	ボーイング B777
CF34	3,242	3,548	3,820	4,156	4,471	4,821	5,085	5,331	5,611	5,798	5,926	6,050	6,150	リージョナルジェット (70~110席級)
GEnx	118	259	468	751	1,035	1,295	1,542	1,826	2,159	2,328	2,425	2,483	2,497	ボーイング B787/B747-8
PW1100G					16	148	398	1,058	1,784	2,144	2,585	3,028	3,210	エアバス A320neo
Passport20							13	66	142	202	269	313	350	ボンバルディア社 Global7500
合計	9,739	10,864	12,063	13,415	14,675	15,957	17,163	18,684	20,255	21,097	21,886	22,607	22,963	

販売台数は、機体メーカーに引き渡した台数であり、工場出荷台数とは異なる。

地域別売上収益・販売台数推移

(億円)

	日本基準							IFRS					
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22		
											3Q累計	見通し	
日本	339	353	375	346	389	398	446	391	354	380	295	390	
アジア	248	298	275	216	158	117	110	107	85	118	110	130	
中国	181	234	243	249	485	719	631	572	665	554	526	650	
北米	13	16	18	24	33	84	116	108	90	131	185	260	
中南米	0	0	7	34	61	74	75	66	69	115	101	140	
欧州	432	602	756	743	617	811	513	289	199	195	164	240	
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	
合計	1,216	1,507	1,677	1,616	1,746	2,205	1,895	1,536	1,466	1,494	1,381	1,810	
販売台数(万台)	518	554	589	536	610	790	676	600	551	492	413	530	

(1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(億円)

	日本基準							IFRS				
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	
											3Q累計	見通し
賃貸収入	92	91	93	101	93	92	93	94	123	121	91	121

(2) 豊洲地区 賃貸収入, 賃貸費用実績(当期)

(億円)

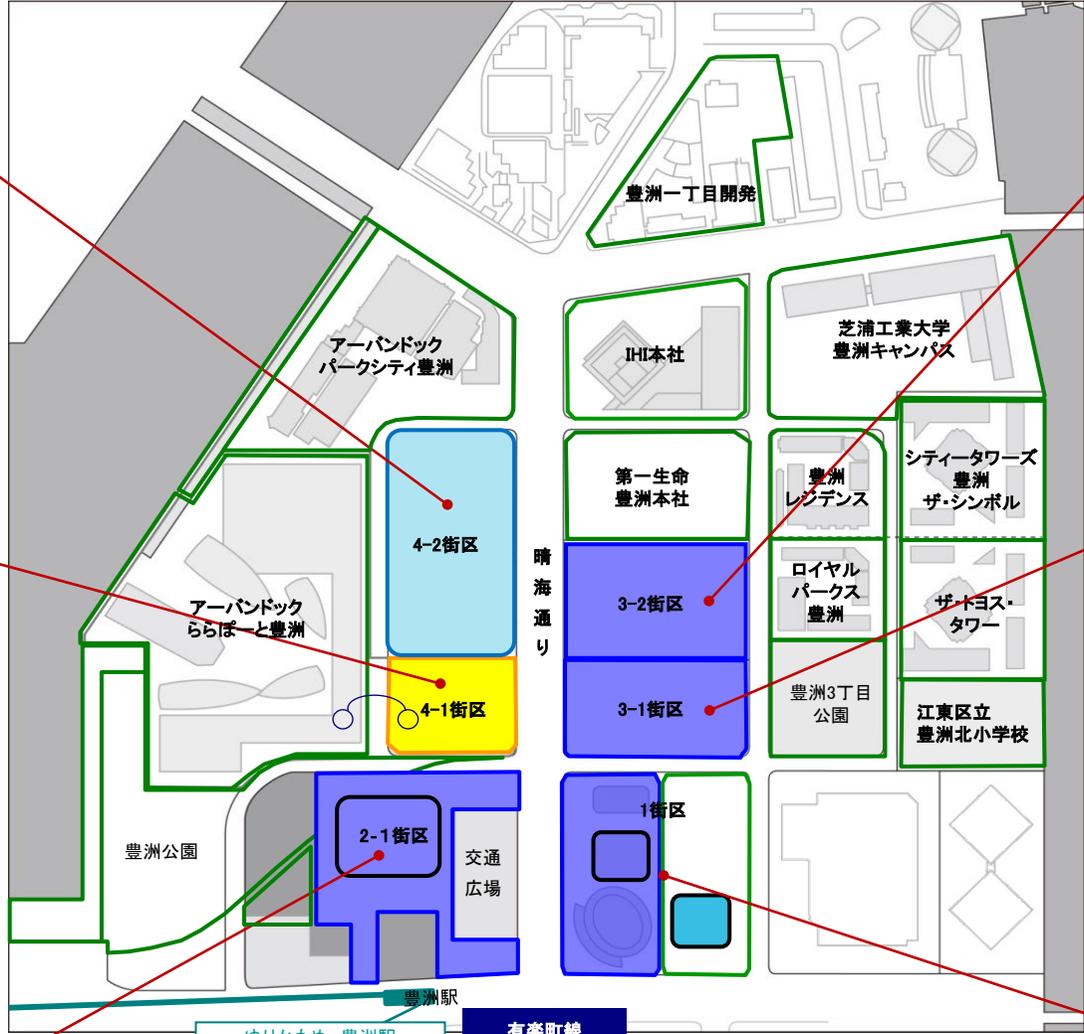
	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'22年度3Q	91	40	32	18

豊洲1~3丁目地区 開発マップ

豊洲4-2街区開発計画
敷地面積: 19,493㎡
2022年7月着工～2025年6月竣工予定

アーバンドック ららぽーと豊洲ANEX
地上5F, 高さ約25m, 延床面積: 24,721㎡
2006年10月開業

豊洲ベイサイドクロスタワー(AC棟)
地上36F, 高さ178m, 延床面積約185,000㎡
2020年3月竣工



豊洲フォレシア
地上16F, 高さ: 約75m, 延床面積: 101,503㎡
2014年7月竣工

豊洲フロント
地上15F, 高さ: 約75m, 延床面積: 106,861㎡
2010年8月竣工

豊洲センタービルアネックス
地上33F, 高さ: 約150m, 延床面積: 105,448㎡
2006年8月竣工

豊洲センタービル
地上37F, 高さ: 約165m, 延床面積: 100,069㎡
1992年10月竣工

■	建物賃貸
■	土地賃貸
■	建物賃貸(借地)
■	開発中
■	売却・寄付・交換済

IHI所有地	約5ha
--------	------

IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。